



「日本で最も美しい村」連合  
2016年10月加盟



# 平成30(2018)年度 私たちの村の家計簿

～平成30年度各会計決算から見る財政事情～



※矢越八幡宮本祭典

## 佐 井 村

# 佐井村の決算(一般会計の決算)

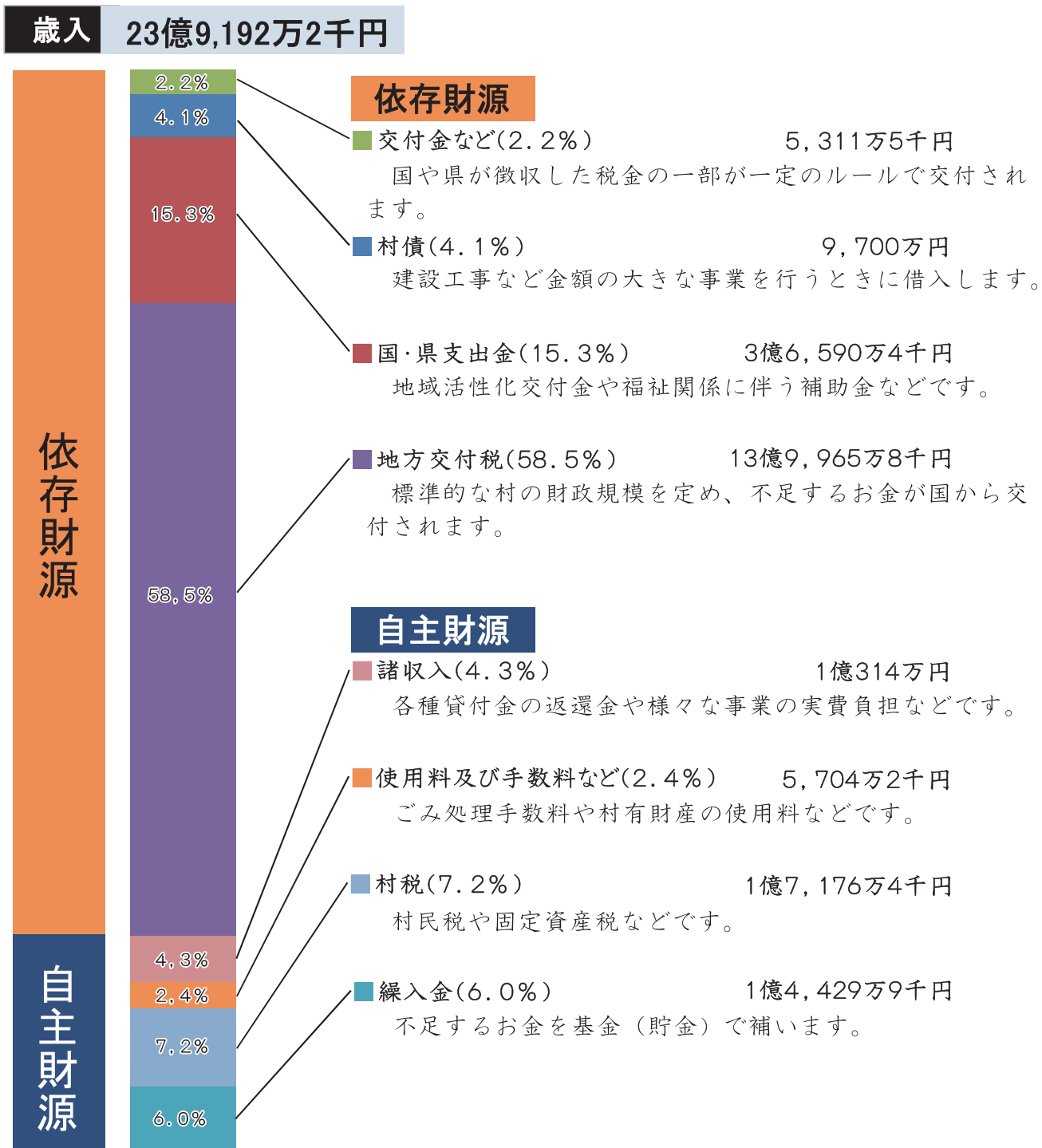
平成30年度佐井村の決算状況についてお知らせします。

一般会計の歳入決算額は23億9,192万2千円であり、前年度に比べ3億9,137万9千円の減額となりました。主な要因としては、核燃料サイクル施設交付金が大きく影響し、県支出金で1億4,435万8千円の減額、地方創生拠点整備交付金事業(ヒト・モノ・カネ・情報を呼ぶ賑わい空間創出事業)のための歳入(国庫支出金・村債)で1億1,667万1千円の減額があげられます。

歳出決算額は23億1,845万6千円であり、前年度に比べ4億1,248万9千円の減額となりましたが、この要因として、総務費では地方創生拠点整備交付金事業の完了などにより2億8,731万2千円の減額、農林水産業費では福浦地区水産物荷捌施設新築事業の完了などにより7,712万6千円の減額があげられます。

歳入歳出差引額(形式収支)は7,346万6千円の黒字であり、これから翌年度へ繰越すべき財源を控除した実質収支額は6,060万5千円の黒字となりました。

これからも、健全な財政運営に取り組んでまいりますので、村民の皆さんの益々のご支援・ご協力をお願いいたします。



## 財政状況を表す数字

### ◆ 経常収支比率

85.1%

総支出のうち標準的な一定水準の行政サービスを行うため常に必要とする経費の割合。この数字は低い方が自由にお金を使うことができます。

### ◆ 財政力指数

0.116

地方公共団体の財政力を示す指標で、基準財政収入額を基準財政需要額で除して得た数値の過去3年間の平均値であり、この指数が高いほど、財政力が強い団体といえます。

### ◆ 標準財政規模

15億2,447万5千円

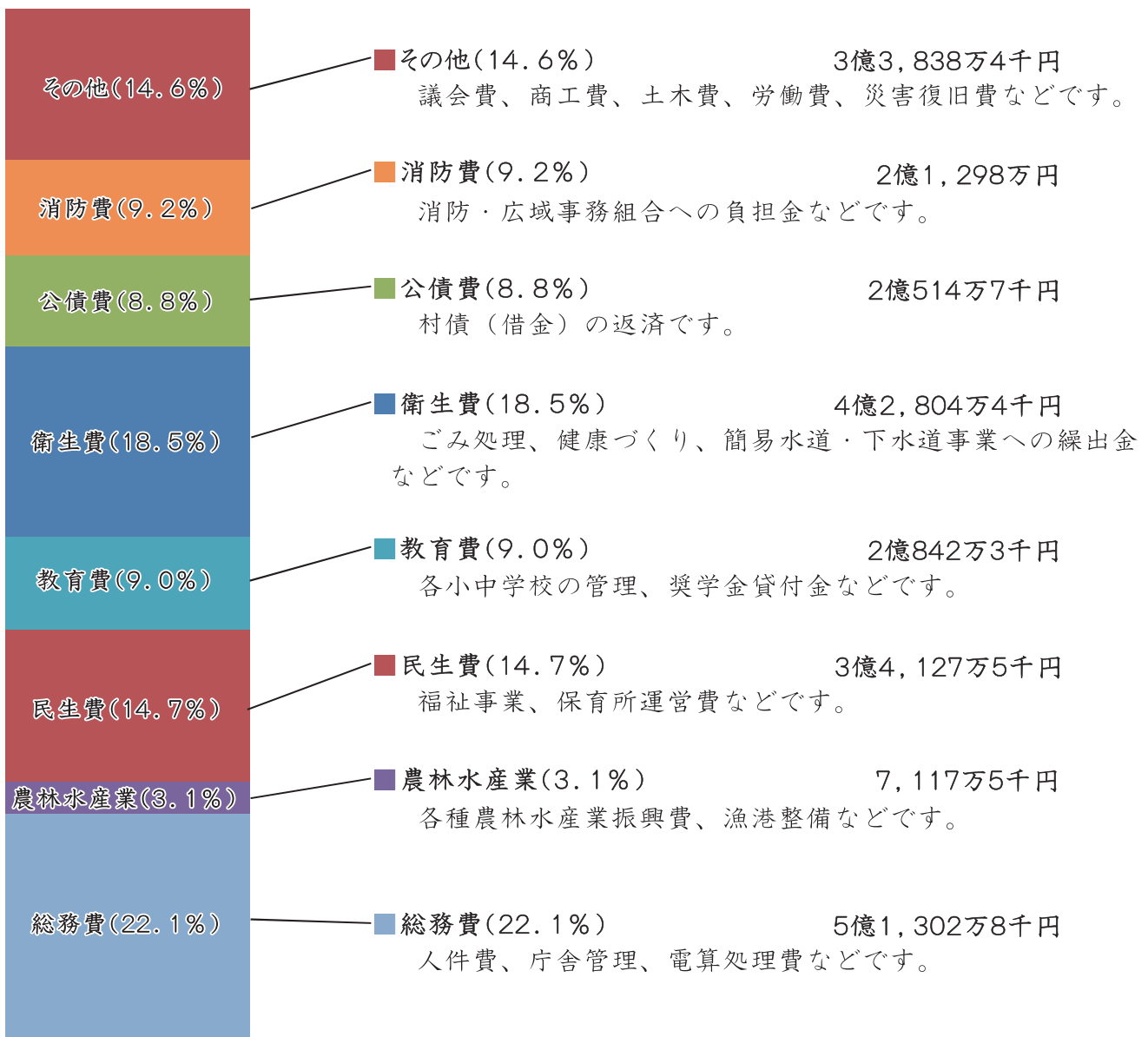
通常の行政サービスを提供するときに必要と考えられる財源の目安となる数値で、財政分析などに利用されます。

### ◆ 実質収支比率

4.0%

実質収支額を標準財政規模で除して得られる比率であり、収支が黒字なら正の数、赤字なら負の数になります。通常3～5%が望ましいとされています。

## 歳出 23億1,845万6千円



## 佐井村の決算(特別会計の決算)

村には、一般会計の他に、特別会計があります。

特別会計は、簡易水道や下水道、国民健康保険などの特定の事業を行うために、財布を別にしてお金の出し入れをはっきりさせるもので、次の5つの特別会計があります。

### 簡易水道事業特別会計

住民の日常生活に欠くことのできない水道について、4地区（佐井、長後、福浦、牛滝）の簡易水道施設の適正な維持管理を行い、安定した飲料水の供給に努めました。

歳入		歳出	
◆水道使用料など	4,306万3千円	◆施設の維持管理費など	2,780万7千円
◆一般会計からの繰入金	2,910万6千円	◆借入金の返済（公債費）	4,436万2千円

### 下水道事業特別会計

生活雑排水などの河川、海などへの流入による水質悪化を防ぎ、衛生的な住環境、水洗化による清潔で快適な生活スタイルを進め、美しく豊かな自然を守り、潤いある快適な生活を創造するため、下水道施設の維持管理（5施設）に努めました。

歳入		歳出	
◆下水道使用料など	1,231万4千円	◆施設の維持管理費など	4,110万7千円
◆一般会計からの繰入金	1億1,708万1千円	◆借入金の返済（公債費）	1億868万8千円
◆借入金（村債）	2,040万円		

### 国民健康保険特別会計

青森県と佐井村を共同保険者とする国民健康保険の運営（国民健康保険に加入している被保険者（健康保険・船員保険・公務員共済などの職域保険に加入している者を除く）に対する国民健康保険税の収納や保険給付など）に努めました。

歳入		歳出	
◆国民健康保険税	6,400万6千円	◆保険給付費	2億865万4千円
◆国や県からの補助金	2億3,546万1千円	◆国民健康保険事業費納付金	8,328万5千円
◆前年度からの繰越金	754万6千円	◆保健事業費	942万1千円
◆一般会計からの繰入金	3,134万9千円	◆その他	2,535万円
◆その他	14万4千円		

## 介護保険特別会計

村を保険者とする介護保険の運営（65歳以上のすべての方を被保険者とする介護保険料の収納や、40歳以上65歳未満で定められた特定疾病を有する方を含む被保険者で、介護が必要となり介護認定を受けた方への介護給付など）に努めました。

歳入		歳出	
3億2,524万9千円		3億2,524万9千円	
◆保険料	5,372万8千円	◆保険給付費	3億436万円
◆国や県からの補助金	1億3,063万7千円	◆地域支援事業費	1,083万7千円
◆支払基金交付金	8,946万9千円	◆その他	1,005万2千円
◆一般会計からの繰入金	5,022万6千円		
◆その他	118万9千円		

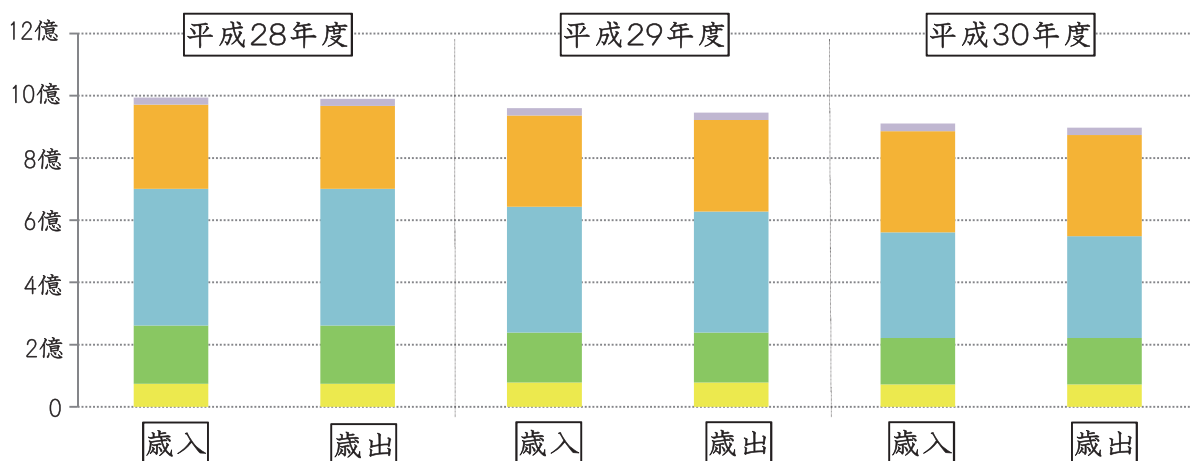
## 後期高齢者医療特別会計

青森県後期高齢者医療広域連合を保険者とする後期高齢者医療制度の運営（75歳以上のすべての方と65歳以上75歳未満で一定の障がいの状態にあると認定された方を被保険者とする保険料の収納など）に努めました。

歳入		歳出	
2,530万4千円		2,359万8千円	
◆保険料	1,397万円	◆広域連合納付金	2,199万8千円
◆国や県からの補助金	72万3千円	◆その他	160万円
◆一般会計からの繰入金	984万6千円		
◆その他	76万5千円		

### 過去3年間の特別会計決算額の推移

(単位:億円)



	平成28年度	平成29年度	平成30年度
後期	2,294万7千円	2,376万1千円	2,530万4千円
介護	2億7,030万9千円	2億9,326万8千円	3億2,524万9千円
国保	4億3,909万9千円	4億4,559万9千円	3億3,850万7千円
下水	1億8,666万7千円	1億8,666万7千円	1億4,979万5千円
簡水	7,504万5千円	7,894万4千円	7,216万9千円
合計	9億9,406万7千円	9億6,032万7千円	8億9,752万1千円



## 平成30年度に実施した 主な事業を紹介します。

### ○津軽海峡文化館アルサス 改修事業

《総務費：総務課》

施設の老朽化による劣化や腐食が進んでいることから、公共施設維持補修基金を活用し、改修工事を実施して施設の維持管理に努めました。



※改修中の津軽海峡文化館アルサス

【決算額】  
工事費など

9,407万9千円



※平成30年度に採用された茂木健さん

### ○漁師縁組事業

《総務費：総合戦略課》

平成29年度までに採用した3名、平成30年度に1名を採用し、村内の4つの法人・団体の漁業技術指導者の下に配置し、技術・技能取得を目的とした長期研修などを実施しました。

【決算額】  
報償金など

1,414万1千円

### ○日本で最も美しい村づくり事業

《総務費：総合戦略課》

「日本で最も美しい佐井村づくりビジョン」に掲げる28のアクションプランを実践に繋げるための取り組みとして「日本で最も小さくかわいい漁村づくり推進プロジェクト・チーム」を立ち上げ、実践活動に向けた下地づくりを行いました。

【決算額】  
委託料など

605万7千円



※美しい村プロジェクトチーム会議

## ○あおい環プロジェクト事業

《総務費：総合戦略課》

外部の観点から見た地域資源の活用など民主導による自主・自発的な活動を展開するための支援を行い、地域資源を活かした滞在型・体験型観光の基礎づくりを行いました。また、新たに2名のあおい環プロジェクト事業協力隊員を採用しました。

【決算額】  
賃金など

435万9千円



※更新された訪問診療車両



※平成30年度に採用された森田紘二郎さん・森田奈美子さん

## ○訪問診療車整備事業

《衛生費：住民福祉課》

青森県核燃料物質等取扱税交付金を活用し、老朽化した歯科保健センター診療車を更新しました。この車両は、むし歯予防や訪問指導など、歯科保健センターによるさまざまな健康管理事業に使用されます。

【決算額】  
備品購入費など

200万9千円

## ○食害対策事業

《農林水産業費：産業建設課》

サルによる被害対策として、保護管理専門員や鳥獣被害対策実施隊員による追い払いや追い上げなど、農作物などへの被害軽減を図りました。

クマによる被害対策として、下北猟友会へ駆除を依頼し、10頭を駆除し地域住民の安全対策に努めました。

【決算額】  
賃金など

1,176万3千円



※大型檻に入ったニホンザル

## ○橋梁長寿命化事業

《土木費：産業建設課》

平成21年度に策定した「佐井村橋梁長寿命化修繕計画」に基づき、社会资本整備総合交付金や村債（借金）を活用し、川目一号橋・牛滝中央橋・長後橋の改修設計業務委託、牛滝中央橋補修工事を実施しました。

【決算額】  
工事費など

3,077万2千円



※補修された牛滝中央橋

## ○公営住宅等ストック総合改善事業【古佐井村営住宅】

《土木費：産業建設課》

施設の老朽化による劣化や腐食などが進んでいることから、社会資本総合整備交付金や青森県核燃料物質等取扱税交付金を活用し、改修工事を実施して施設の維持管理に努めました。

【決算額】  
工事費など 2,288万4千円



※改修された古佐井村営住宅



※LED化された教室

## ○学校施設照明設備整備事業【佐井小学校】

《教育費：教育委員会》

児童生徒の安全な教育環境の確保および省電力化によるコスト削減を目的として、校舎内照明のLED化工事を実施しました。

【決算額】  
工事費など 1,758万3千円

## ○児童生徒送迎車両整備事業

《教育費：教育委員会》

令和元年度福浦小中学校の統廃合を視野に入れ、へき地児童・生徒援助費等補助金を活用し、老朽化した小学校用スクールバス1台を更新しました。

【決算額】  
備品購入費など 1,070万5千円



※更新された車両



※三上剛太郎生誕150年祭イベント

## ○三上剛太郎生誕祭関連事業

《教育費：教育委員会》

赤十字の里づくりの歌「北のふるさと 佐井村」の制作や青森県未来を変える元気事業を活用し、赤十字の旗ひるがえる里佐井村ホームページを制作し、三上剛太郎の博愛の精神および赤十字思想の普及に努めました。

【決算額】  
委託料など 411万7千円



平成30年度から新たに着手した事業や拡充した事業を紹介します。



### ○子育てワンストップサービス事業

《民生費：住民福祉課》

マイナンバーカードを活用し、子育て関連の申請や手続きについて、インターネットで一括してできるように整備し、子育て世帯の負担軽減に努めました。

【決算額】

サービス利用料

32万7千円



※佐井村保育所運動会



※完成したさいクリニック

### ○医師確保対策事業

【診療所建設用地外構工事】

《衛生費：住民福祉課》

無医村状態の当村において、青森市浪岡の開業医大竹進先生が整形外科診療所を開設するため、昨年度購入した用地の外構工事を行いました。また、さいクリニックは、令和元年4月13日（土）から開院しています。

【決算額】

工事費など

3,452万1千円

### ○教員住宅整備事業

【佐井小学校】

《教育費：教育委員会》

建設から40年以上経過し、経年劣化の著しい2棟の教員住宅を学校施設環境改善交付金や村債（借金）を活用して新築し、教職員の住環境の改善および教育の質の向上を図りました。

【決算額】

工事費など

3,277万2千円

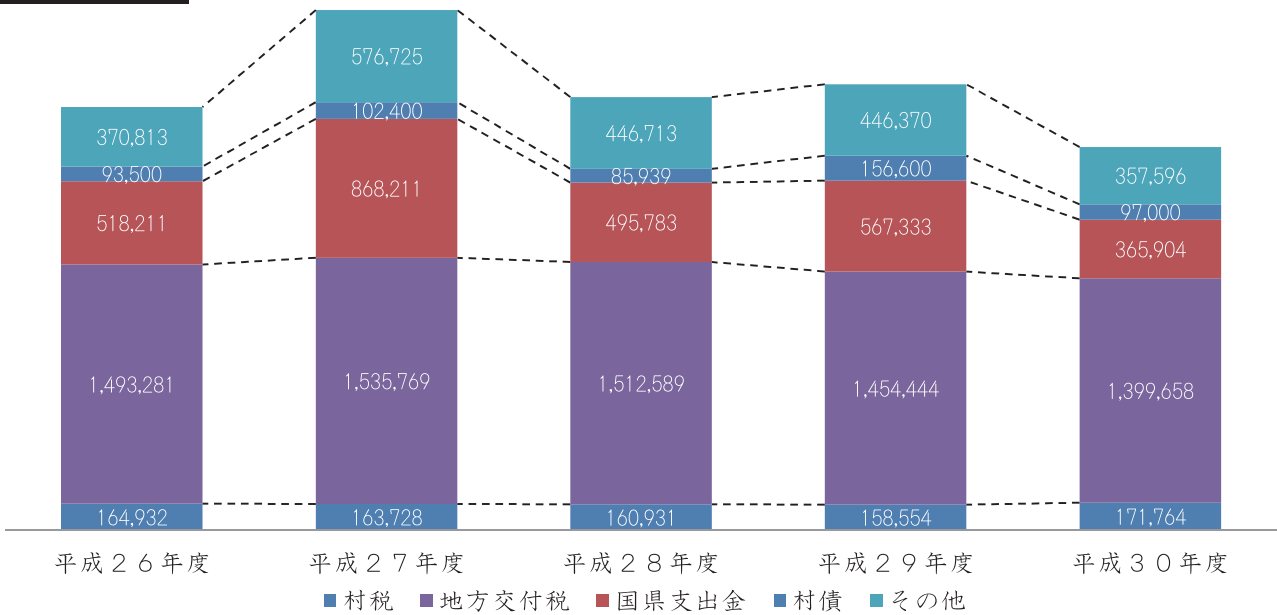


※新しく建てられた教員住宅2棟

# 一般会計決算額の推移について

## 歳入決算

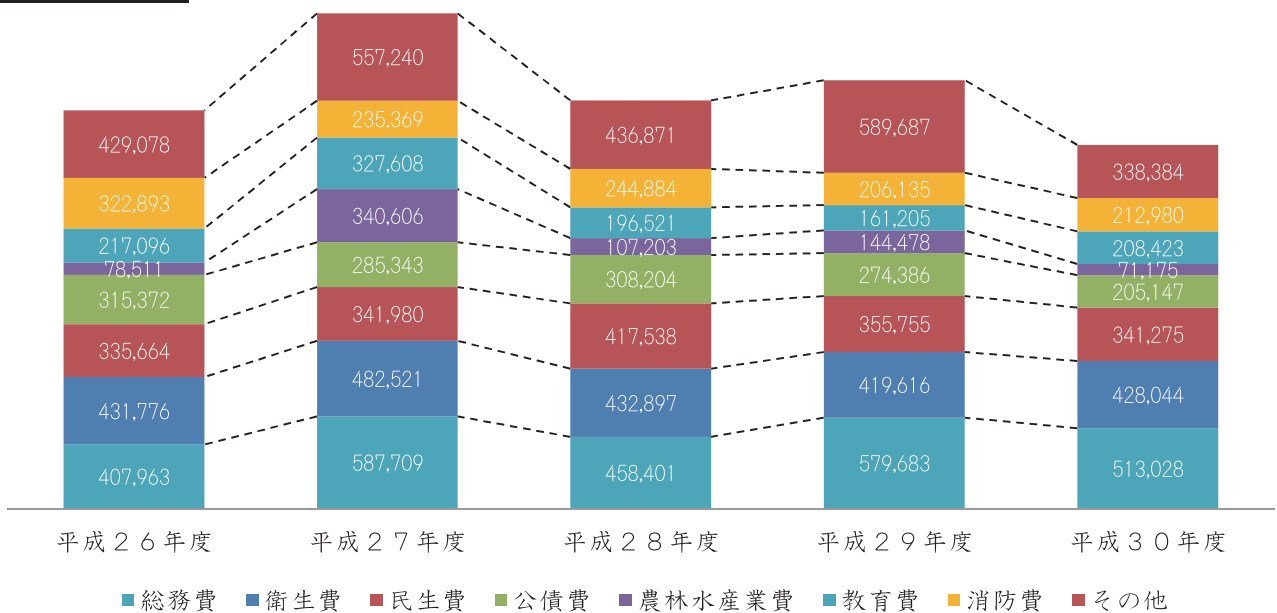
(単位：千円)



歳入決算計	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	26億4,073万7千円	32億4,683万3千円	27億195万5千円	27億8,330万1千円	23億9,192万2千円

## 歳出決算

(単位：千円)



歳出決算計	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	25億3,835万3千円	31億5,837万6千円	26億251万9千円	27億3,094万5千円	23億1,845万6千円

### 【決算の傾向】

5年間の決算額を比べてみると、平成27年度の決算額が突出していますが、これは漁業創生プロジェクト事業などによるものです。30年度決算額は、地方創生関係交付金および村債（借金）を活用したアルサス周辺の整備事業の完了が大きく影響し、歳入・歳出ともに対前年度比で減少しています。

# 健全化判断比率の公表について

『地方公共団体の財政の健全化に関する法律』（平成19年6月22日公布）により、地方公共団体は財政の健全度を判断するために設けられた健全化判断比率の算定及び公表が義務付けられています。

健全度の判断には5つの比率（実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率、資金不足比率）が用いられており、これらの比率が一定の基準を超えたときは、財政運営の健全化を図るための計画を策定するとともに、この計画を実施促進する行財政上の措置が必要となります。平成30年度決算に基づく佐井村の健全化判断比率は、下表のとおりです。

いずれも早期健全化基準を下回りましたが、村の財政状況が厳しいことには変わりはなく、引き続き行財政改革を進めていくことが必要です。

## ■ 健全化判断比率 （単位：％）

	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
平成30年度	— (▲3.97)	— (▲4.74)	8.9	— (▲112.8)
早期健全化基準	15.00	20.00	25.0	350.0
財政再生基準	20.00	30.00	35.0	設定なし

- ※ 実質赤字比率及び連結実質赤字比率の比率欄「—」は、比率の算定の結果、「実質赤字額がない」ことを表しています。
- ※ 将来負担比率は、比率がマイナスとなる（地方債現在高などの将来負担額より基金などの充当可能財源が多い）ため「—」表示となります。
- ※ 参考として（ ）にマイナスの比率を標記しています。

## ■ 資金不足比率 （単位：％）

		資金不足比率
特別会計の名称	簡易水道事業 特別会計	— (資金不足なし)
	下水道事業 特別会計	— (資金不足なし)
経営健全化基準		20.0

## ■ 用語の解説

### ・ 実質赤字比率

一般会計などを対象とした実質赤字の標準財政規模に対する比率で、この比率が15%以上で財政健全化団体になり、20%以上で財政再生団体となります。

### ・ 連結実質赤字比率

全会計を対象とした実質赤字の標準財政規模に対する比率で、この比率が20%以上で財政健全化団体になり、30%以上で財政再生団体となります。

### ・ 実質公債費比率

一般会計などが負担する元利償還金などの標準財政規模に対する比率で、一部事務組合への負担金や公営企業会計に対する繰出金のうち元利償還金相当分なども要素に加えられます。この比率が25%以上になると財政健全化団体となり、一部の地方債の発行が制限され、35%以上になると、財政再生団体となり、多くの地方債の発行が制限されます。

### ・ 将来負担比率

地方債の残高をはじめ、一般会計などが将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率です。この比率が350%以上で財政健全化団体となります。

### ・ 資金不足比率

公営企業会計の資金不足額の事業規模に対する比率で、この比率が20%以上で経営健全化団体となり、公営企業の経営の健全化を図る計画を策定しなければなりません。

### ・ 標準財政規模

自治体が通常の行政サービスを提供するために必要な一般財源をどの程度持っているのかを表す指標で、普通交付税と地方税が主なものです。自治体の財政状況を一定の基準で分析する場合などに利用されます。

## 基金の積立状況等について

- 平成30年度一般会計決算における基金残高の変動状況については、次のとおりとなります。

(単位：千円、%)

区 分	平成30年度末 現在高	平成29年度末 現在高	増減額	増減率
財政調整基金	715,212	719,961	▲ 4,749	▲ 0.7
村債管理基金	303,104	276,712	26,392	9.5
公共施設整備基金	80,940	80,934	6	0.0
地域福祉基金	5	5	0	0.0
交通安全施設整備等基金	271	271	0	0.0
林業振興基金	107	107	0	0.0
育英基金	39,065	35,380	3,685	10.4
地域振興基金	60	60	0	0.0
水産振興基金	364,687	347,561	17,126	4.9
ふるさと佐井村応援基金	36,333	30,656	5,677	18.5
佐井村公共施設維持運営基金	35,461	39,500	▲ 4,039	▲ 10.2
佐井村公共施設維持補修基金	247,321	280,070	▲ 32,749	▲ 11.7
佐井村核燃料物質等取扱税交付金事業基金	13,735	24,541	▲ 10,806	▲ 44.0
土地開発基金	1,300	1,300	0	0.0
特別導入事業基金	3,848	3,847	1	0.0
ふるさと活性化対策基金	135	135	0	0.0
合 計	1,841,584	1,841,040	544	0.0

## 地方消費税の引き上げ分における使途の明確化について

- 平成30年度一般会計決算における地方消費税交付金（社会保障財源化分）が充てられる社会保障経費は、次のとおりとなります。

【歳入】 地方消費税交付金（社会保障財源化分） 16,680 千円

【歳出】 地方消費税交付金が充てられる社会保障施策に要する経費 288,325 千円

(単位：千円)

事業名	平成30年度 決算額	財 源 内 訳					
		特 定 財 源			一 般 財 源		
		国(県) 支出金	地方債	その他	地方消費税交付金 (社会保障財源化分)	その他	
社会 福祉	障害福祉事業	87,357	62,173		27	2,821	22,336
	高齢者福祉事業	32,860			4,333	3,199	25,328
	児童福祉事業	64,330	16,100		29,850	2,061	16,319
	母子福祉事業	5,203	974			474	3,755
	小計	189,750	79,247	0	34,210	8,555	67,738
社会 保険	国民健康保険特別会計繰出金	31,350	17,567			1,546	12,237
	介護保険特別会計繰出金	45,549	798			5,019	39,732
	後期高齢者医療特別会計繰出金	9,846	7,384			276	2,186
	小計	86,745	25,749	0	0	6,841	54,155
保健 衛生	疾病予防対策事業	4,714			48	523	4,143
	健康増進対策事業	7,116	332			761	6,023
	小計	11,830	332	0	48	1,284	10,166
合 計	288,325	105,328	0	34,258	16,680	132,059	

※地方消費税交付金（社会保障財源化分）は、各事業に要する一般財源の比率に応じて按分して充当しています。